泉

第47号

胸を張って歌った校歌

同窓会長　湊　くに

六月十九日、久しぶりに母校を会場にして同窓会総会が開かれました。気にしていた雨も降らず、一安心！

同窓生の皆さん、今日は！お元気でご活躍のことと思います。

常日頃から何かとご配慮いただき、ありがとうございます。

校門を入るとまず初めに森本厚吉先生の銅像、新渡戸稲造先生の胸像に目礼します。私は昭和八年に入学しましたが、その当時、新渡戸先生が学校にお見えになると、必ず森本先生とお二人ご一緒に歩いていらしたお姿、狭い運動場・廊下・講堂を大きな声を出してニコニコ仲良く話し合っていらしたお姿が目に浮かびます。銅像を見るたびに、すばらしい師弟の姿が昨日、今日のように思えます。

同窓会は、各校の幹事長を中心に幹部役員の話し合いを密にするよう努力しています。現在の同窓会の良い空気が生まれるまで、十年はかかっております。皆さんの協力があって初めて出来ることです。

一年間の仕事は総会・部会・観劇会・新渡戸祭・国内外の旅行・学校行事への参加等、年々新しい意見を採り入れ、積極的に行われています。各自が自由に意見を言える同窓会でありたいと、常に考えています。時には意見の衝突もあると思いますが、イエス！イエス！の会にならないよう、努力しています。でも、結論が出たら皆で協力して実施することを忘れずに！

総会で合唱した校歌、百二十余名の参加者が胸を張って大きな声で、三番まで歌い続けた校歌。「自由の行く手いかに曇るも乙女は笑いてただ開き行く…」涙が頬を伝わり、でも全員胸を張って歌い続けたすばらしい合唱でした。陰になって働いていた同窓生も、胸がいっぱいになりましたと感激していました。一つにまとまるということはすばらしいことです。

◀高女の仲間達と　左から2人目　湊会長

学園は近年の少子化の影響による学生・生徒数の減少の歯止めに大変な時期です。同窓会として出来ることは、事あるごとに同窓生に学校の話を聞いていただき、在校生の父母会の方とも連絡を取り、母校の生徒募集に協力していくことです。

教育に関しては各校の校長先生を中心によろしくお願いいたします。「同窓会は無理をしないでコツコツ努力。友人との関係を大切に。森本厚吉先生から教えていただいた『お金はメリハリを付けて賢く使う』こと。住所の確認。そして手紙の返事は必ず提出！」

これを忘れないでいきましょう。

二年後には母校も創立八十周年を迎えようとしています。二年後はすぐに来ます。私も老体に鞭打って二万人を超える同窓生と共に頑張るつもりです。皆で森本晴生理事長に協力して、前進して行きましょう。一人では決して何も出来ません。皆の協力があって初めて前進出来ます。よろしくお願いします。

私のモットーは「和」です。皆で仲良く「健康第一」に心がけましょう。

同窓会主催旅行のご案内

国内旅行

〝日光中禅寺湖畔の旅〟

秋の日光を訪れ、酒蔵見学・りんご狩り等を楽しみます。宿泊は、卒業生が経営する名旅館「楓雅」。日程等は次のとおりです。

日時　11月23日㈬～24日㈭
費用　三万五千円
募集人数　50名
旅行会社　J&B日観旅行社

海外旅行

〝アンコール遺跡とベトナム周遊七日間〟

アジアの世界遺産として注目を集めているアンコール遺跡群と、ベトナムを巡ります。ベトナム屈指の景勝地、ハロン湾の見学も含まれ、楽しい思い出の残る旅となることでしょう。

日程　平成18年2月2日㈭～2月8日㈬
費用　19万8千円（参加者20名以上）

いずれもお問い合せは同窓会事務局まで。（月・水・金）

同窓会総会に参加して

短50　富士ひろみ（武藤）

六月十九日（日）二年に一度の同窓会総会が開催されました。久しぶりの学園での集まりに、百三十人近くの同窓生が母校に足を運びました。

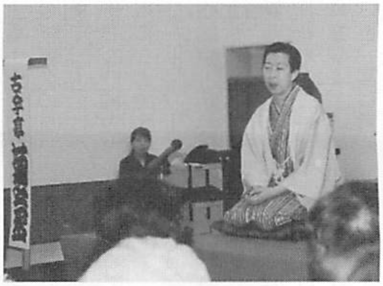
第一部の総会は視聴覚教室で開かれ、司会は中川悦さん。湊くに会長の挨拶では、「みんな仲良く和をもって、健康に気を付け元気に過ごしましょう。そして来て良かったなぁと思える同窓会にしましょう。案内が届いたらハガキの返事は必ず出して下さい。」とのお願いもありました。

続いて、森本晴生理事長より学園の様子が紹介されました。役員の選出が行われ、会長・湊くに、副会長・長岡文、黒澤教子、会計監査・赤木君江、青木純子がそれぞれ再選されました。事業報告、決算報告、予算が承認され、無事第一部が終わりました。

第二部は古今亭菊之丞さんの落語「転失気」を楽しみました。続いて、昭和六十二年高校卒業のオーストウィック明子さんのオペラ二曲、ピアノ伴奏は五十九年高校卒業の川村祥子さん（短大専任講師）ピアノ独奏もして頂きました。校歌の作曲家、岡野貞一の曲、「故郷」「朧月夜」を合唱し、校歌でしめくくりました。

第三部は第二カフェテリアに移動し、食事会を行いました。なつかしいいろいろな卒業校のメンバーの席が作られ、お弁当を食べながら、思い出話や、近況など話は尽きない様でした。学園からは、アイスクリームと、校内卒業生が焼いたパウンドケーキがプレゼントされました。

梅雨に入りましたが、この日は天気も良く、最高齢者は、八十八歳の方も来てくださいました。校内卒業生の皆様には、いろいろお手伝い頂き、大変お世話になりました。今度は、十一月二日、三日の新渡戸祭（文化祭）でお会いしましょう。



▲ 古今亭菊之丞さん

専24　渡邉紀三子（出雲）

雨に咲くあじさいの花の美しさもさることながら、それでも外出するには雨の降らない方がラッキーと、梅雨入りを伝えられる六月十九日、恒例の母校の同窓会総会に出席致しました。

駅のターミナルに降り立った時、背後から大声で旧姓を呼ばれ、久し振りに出逢った昔の友に一瞬にして若かりし頃の自分に呼び戻されて、昔話を交わしながら学校へとご一緒致しました。

当時の彼女は付属高女の生徒で終戦後の混乱期に親を失った子供達に物資を運んだ事とか、私が忘れていた様々な思い出話をしてくれ、長年専業主婦の状態で過ごしてきた私にとってそれはもう一種の斬新なショックを与えてくれたものでした。

そんな出来事の中で複雑な想いを抱きながら出席した今年の総会は、東京文化学園という大きな箱物の中に息づく沢山の方達の御努力と奉仕の力、そして最後に愛の力がプラスされて立派な総会が開かれたと思います。盛り沢山の企画等が楽しい集まりに用意されましたが、それぞれ大変だった事でしょう。

第二部お楽しみ会としての落語は中々に出色でした。落語家自体に色気があり、これからの活躍も期待される人柄で将来が楽しめる方だったと思います。又、この方に出演をお願いした同窓会幹部の方の目のつけ所もたいしたものだと思いました。

医47　遠藤　紀子（栗谷）

久し振りに学校へ行こう！という動機で中学時代からの友人達と出席。総会に集う大先輩方の背筋をピーンとのばした、その後ろ姿に文化の歴史の重みを感じました。会場でお逢いした懐かしい先生方。思わず、握手をした長岡先生のやさしい手の温もりから学生時代にタイムスリップし、脳裏に浮んだのは、厳しくも慈愛にみちたご指導でした。大感激と同時に少し、心臓がドキッと致しました。

三十余年前と変わらないカフェテリアでの懇談では当時の制服やカフェテリアのメニューのこと、授業、仕事の話など女達の話はつきる事なく、本当に楽しい時間は飛ぶように過ぎていきました。総会の最後に歌った校歌の一部が短大では「乙女」から「若人」に変わったのは、やはり時代の流れかと痛感致しました。

▶ 出席者全員で大合唱

同窓会総会に参加して

菊之丞さんの落語

高26　伊藤　哲子（河野）

総会第二部「お楽しみ会」の最初は、趣向を凝らして、「落語」。

古今亭円菊師匠のお弟子さんの杉並区に住まわれる古今亭菊之丞さん。

黒澤教子先生のお骨折りで地域お隣り組のご縁でおいで頂いた由。私は戦前（十代の頃）から祖父母に伴われ、寄席通い。先代はもとより、先々代あたりまでのイメージが朧気にあります。

円菊師匠は、少し崩れた下町の中年かみさんを演ずれば、その日本的色気は、当代随一。私は、以前よりそのお弟子さんの菊之丞さんに目をつけていました。

私が、時折行く、千葉県立国分高校出身。出囃子は、彼らしい粋に、おにぎやかに、「元禄花見踊」。当日の羽織の水色の涼しげなこと。紋は、師匠と同じ「裏梅」。菊之丞さんの御趣味は、芝居鑑賞と、日本舞踊と言われるように、歌舞伎の若手女形を思わせる手弱女振り。品のある芝居振舞は、これからの「落語界」を背負うに相応しいと感じます。御挨拶も、「枕」の振りかたも、そつなく纏めて、時間配分も上手に、充分堪能させて下さった。

帰途、天神前のバス停で一緒になった大先輩とお話出来たこと、校歌を三番まで諳じていたことは、お土産のフルーツ・パウンドケーキと同じ、うれしさでした。心に青春前期を甦らせて下さった総会に、改めて感謝申し上げます。

歌とピアノ

女21　太田　典子（小澤）

今年は、芸術座の改修に伴い本校で同窓会総会となりました。例年とは異なり、卒業生によるオペラ・歌曲の歌、ピアノ演奏をご披露戴きました。

お二方のプロフィールをご紹介致します。

オーストウイック明子（あきこ・旧姓松永）

桐朋学園大学短期大学　ピアノ科卒業後
桐朋学園大学　声楽科へ編入
同大学研究科終了
調布市・多摩市　音楽復興財団主催による演奏会や「室内楽　変遷」「ガラコンサート」を始め、黒柳徹子出演のストレートプレイ「マスタークラス」では、シャロン役アンダースタディーを務める。第七回全日本ソリストコンテスト第一位。二期会会員。

川村祥子（かわむらしょうこ・旧姓木島）

国立音楽大学、音楽学部教育音楽学科卒業。
私立武蔵野中学高等学校並に東京文化中学高等学校音楽科教諭を経て、現在東京文化短期大学専任講師。その間、私立中高協会定期音楽役員、NHK全国学校音楽コンクール運営委員を勤め、杉並区の児童館や保健センターで幼児向けの音楽リズム講座も開設している。

歌曲　歌……オーストウイック　明子
　ピアノ伴奏…川村祥子
1、オペラ『ジャンニ・スキッキ』より「私のお父様」
2、オペラ『椿姫』より「乾杯の歌」

ピアノ演奏…川村祥子
1、ショパンのワルツ

この後、全員で朧月夜・ふるさと・校歌を歌いました。

目頭を拭っていらっしゃる方もありました。在学の日の光景を思い出しました。皆様にお会い出来て、とても幸せでした。今回ご用事や体調でお見えになれなかった方、次回をお待ち申し上げております。

▶オーストウィック明子さんの独唱

短54中武　麻子（佐藤）

第二部の菊之丞さんの落語が始まると、数分後にはすっかりおもしろさにひき込まれてしまい、会場の中で私が一番大きな口をあけて笑っていたかもしれないと思いました。

あっという間に楽しいお話が終わり、次は卒業生で短大の先生でもある川村祥子さんのピアノ伴奏で、やはり卒業生でオペラの分野で活躍なさっているオーストウィック明子さんの素晴らしい歌を聴かせて頂きました。東京文化を卒業した方々が様々な分野でスペシャリストとして活躍されていることにあらためて感動しました。

その後は席をカフェテリアに移し各部会ごとに会食を楽しみました。

当日は盛会でしたが若い世代の卒業生の参加がとても少ないことが残念でした。次回の総会には友人や後輩達にも積極的に声をかけてお誘いしようと、今から楽しみにしています。

さまざまな分野で活躍する同窓生

役に立てたら…

女20　前畑　妙子（小尾）

昭和五十九年、五十八歳にして初めての本「ぬけ殻の女」を出版しました。本を書いたと言っても、子供が巣立ち心にぽっかり穴が開いた感じがし、その空洞を文字で埋めたようなものです。

もともと構想を練り文章にするのが好きな私でしたが、子育てに終止符を打った筈なのに、わが家の色々の事情から子育てならぬ孫育ての役が廻ってきて、執筆どころでなくなりました。その孫が成長し、高校三年生になった時に、PTAの役を引受けることになりました。

バアバなのに最年長ママにさせられ、広報部員となって広報誌の編集に熱中したお蔭で、忘れかけていた自分の本の、出版の虫が騒ぎ出しました。年取っての子（孫）育ての苦痛が逆に文章を書いて出版する活力となり、生き生きとした日常を取り戻しました。

〈人生とは己の存在の追求〉と考えています。世の中にはガンジーやマザーテレサのように人類のために人生のすべてを、全精神を注がれた偉大な方がおられます。私には力は微塵もありませんが、でも人様のお役に立てたらとの思いから拙文を綴り、本にして老人ホーム等に納本させてもらっています。そして、母校へも献本いたしました。

懐かしい学園時代、作文だけは好きでした。春島先生が私の作文「月見草」を教室で読み上げて下さり恥ずかしかったのも忘れられない思い出の一コマです。

この度は、同窓会誌「泉」に私の文を載せて頂けるとは夢にも思いませんでした。これからも文章を書くことで充実の余生にしたいと思っております。

皆様のご多幸と母校の弥栄を祈りながら……。

いきがい

高33　菊地　昌子（長尾）

人生、五十年が今や八十年。子育ても終り、何か趣味をと思っておりました。これからの余生を楽しむためには、色々あると思いますが、その一つは「打込める趣味」を持つことではないかと思います。

私は東京文化在校中四年間、小原流のいけばなをおけいこし、現在でも続けております。他に最近は写真に興味をもち、花、子供、風景等を写すことに喜びを感じております。

確か五十歳後半の頃かと思います。江戸時代後期に忽然と姿を消した「幻の辻が花」を久保田一竹先生が復活させ、「一竹辻が花」が生まれました。その作品が、河口湖の久保田一竹美術館に展示されていることを知りました。

早速、美術館を訪れてみたところ、その色彩の素晴らしさ、それに加え、建物等の美しさにすっかり魅せられ感動を受けました。その際、会場にあった「フォトコンテスト募集」のパンフレットに目がとまり、なにげなく持ち帰り、当時撮影した写真で応募しました。ところが予期せずその写真が入選!!美術館に展示されていることを知り、驚きの気持ちで一杯でした。

「柳の下にどじょう」ではありませんが、翌年も応募したところ、今度は「一竹賞」に入り、先生の作品である「一竹辻が花」の帯をいただき、大感激いたしました。その後も連続入賞し、このことが、私が写真の趣味に打込む契機となりました。

写真の基礎は主人から指導を受けながら範囲を広げ、今は東京読売写真クラブに入会し、撮影会等に参加しております。しかし、しばしば壁に突き当たり、才能がないのではと思うことがたびたびありました。ところが昨年、月間の最優秀に選ばれ、都内版に掲載されました。

「高く飛んで！！」最優秀賞受賞作品

このような喜びを味わうと人は現金なもので、一時スランプに落込んでいたことをすっかり忘れ、元気一杯でやる気を出しております。これからも趣味に打込みながら、生きがいある余生を送っていきたいと思います。

鎌倉市議会議員に当選して

短62　原　かつら

私は東京文化高等学校を経て東京文化短期大学を昭和62年に卒業し、普通の会社員として18年弱勤務してまいりました。そんな私がなぜ政治家を目指したのか？それには良い人との出会い、環境もありました。会社員時代に知り合った友人が政治家になり、仕事の折りをみて選挙のボランティアをしておりました。「まさか自分が」と思っていた鎌倉市議会議員選挙への引き金を引いたのが前鎌倉市議会議員の伊藤玲子さんという方でした。今回の選挙においては文化のお友達が何年ぶりにも関わらず電話一本で、お手伝いに来てくれました。東京文化の友人、会社員時代の友人、先輩議員、家族と多くの人に助けられました。人との出会いの素晴らしさは東京文化で過ごしていた学生

時代にも学びました。本当に人との出会い、友人のつながりは財産であります。

鎌倉市議会議員になり、これからが正念場。しがらみのない政治、市民の皆様側にむいた政治をしてまいります。私の政策は「教育改革」「行財政改革」などを推進し、東京文化で学んだ精神をいかし、初心忘れず精一杯頑張ってまいります。皆様のご健勝を祈念いたします。

▲ 原かつらさん

バレエダンサーの仕事

小H6　本島　美和

バレエダンサーという職業をしていると、よく色々な方に「最後のカーテンコールで拍手を受けている時が一番気分がいいでしょう？」と聞かれます。しかし、私にとって一番気分が良いと感じるのは、やはり舞台で踊っているその瞬間です。照明を全身に浴び、オーケストラの音の渦の中で、自分のエネルギーを放出しながら踊っている時が一番幸せなのです。

普段のバレエダンサーの生活は、毎朝10時から1時間15分のクラスレッスンで自分の体のバランス、テクニックを確認します。少し休憩があって、5時まで2つのリハーサル室を使って時間割りのようなスケジュールがあり、自分の出演する演目のリハーサルに参加します。本番が近づくにつれ、通し稽古、舞台稽古、メイクを付けオーケストラが入り、本番と同じように行うゲネプロへと変化していきます。

その間、ダンサーにとって大切なことは、いつも自分の体をいい状態に保つこと。怪我や病気で舞台に立てなくなってしまうことが、やはり一番恐いことです。そのために私はストレッチをしたり、足りない筋力を鍛えたり、体重を管理し、でも栄養はきちんと摂って体力をつけ、疲れをためないように早く寝て体調を整えます。

その他に私は自分の演じる役について本を読んだり、ビデオを観て研究をします。私はこの時間がとても好きで、役を掘り下げるほど不思議と難しいテクニックが自然に出来るようになったりするのです。

そして本番では、窮屈な椅子に長時間座って舞台を観に来て下さったお客様に、少しでも感動や夢や希望といったプレゼントを与えられるように祈りながら舞台に立つのです。

◀ ドン・キホーテのキトリ役で

母校自慢

医47　氏家　幸

永年勤続者の表彰式席上のことです。私立大学病院の検査室に勤務していますが、表彰式には学校の教員と病院の職員が同じ会場で表彰されます。そして受賞代表者が壇上でお礼の言葉を述べるのです。

ある教授は小学校から大学まで公立で学び、卒業後も大学の研究室に残りましたが、縁あって現在の大学に移られました。海外に出張した際、学校名を伝えると初対面の方でも「卒業生です」と言い温かく迎えて下さることに驚いたそうです。今までの公立にはなかった「社中」の意味を初めて実感したとか。

学校を卒業するとその存在を忘れ、卒業生同士の連絡も疎遠になりがちです。歴史ある有名校では卒業生の活動が盛んで、学校の繁栄を支えている姿をよく目にします。

また、別の受賞者は留学先で出身大学を聞かれた時は、お財布から一万円札を取り出すそうです。私達の初代校長は五千円札の新渡戸稲造先生でした。私達も同じように自慢出来たのにと思うと残念ですね。

校長新渡戸稲造が制定した教職員心得の中に「智育のみに偏せざるよう思慮と判断力の育成に務むること」とあります。病院検査室に勤務する私達にも当てはまる言葉で、技術の習得だけに留まることなく、仲間どうし互いに学徳をみがくことを心掛けたいものです。

Haste not, Rest not. で
―ビジネスアカデミーで学んだこと―

BA H3　野上　幸絵

空は深く澄み渡り、夜長の頃となりました。私が最も好きな季節です。ビジネスアカデミーを卒業してから、十五年が経とうとしています。アカデミーの校舎は、当時、医技の桃園校舎に併設してありました。この季節になると桃園で盛大に行われた学園祭を想い出します。

ビジネスアカデミーは、簿記とブリティッシュカウンシルと提携した英語取得に特化した少数精鋭教育、まさに国際時代に先駆けた学校でした。先生方は皆、生徒一人ひとりの個性をしっかりと見つめ〝良いところを伸ばし教育〟〝人間として生き方の違いを認め合う〟という考えを実践されていらっしゃいました。専門知識はもちろんのこと先生方の姿勢からも、私は多くのことを学びました。

私は、現在、東京都議会議員として、文教委員会に所属し、教育のあり方や生活文化のあり方について考え、活動しております。政治は、未来への責任を

次頁へ

果たすことです。しかしながら、今の政治の現状は、官僚の腐敗・談合・天下りの問題、次世代へ現代のツケをまわすなど、多くの課題を抱えています。

　今までの社会は〝男性の視点〟つまりは〝右肩上がり〟〝高度成長時代〟という発想でした。しかしこれからは、〝少子化〟〝人口減少〟へと向かう中で、政策も転換が必要です。これからは〝女性の視点〟〝国際的な視点〟で物事を捉える、ということがますます大切になります。

　私は、女性として、地域で生活していく上で様々な問題に直面している当事者としての視点で、これからも仕事をしていきたいと思います。

　「活く頭、動しむ双手、寛き心」という精神は、私の政治姿勢でもあり、学園からいただいた最大の財産です。

終戦特集

終戦直前の頃

専21　龍　乙栄（佐藤）（福岡支部長）

昭和二十年の春、空襲の激しかった頃、私達東京女子経済専門学校二年生は蒲田の富士航空計器へ学徒動員として通っていました。友達と皆一緒に学校の寮舎から満員電車を乗りつぎながら通う事も全然辛いと思わず、毎日元気に歌を歌いながら張り切って通勤しました。

厚吉先生の温かいお話

　一年生の時の僅かな時間に校長森本厚吉先生から本当に心やさしく温かいお話をたくさん聞かせて頂きました。新渡戸稲造先生の事や、クラーク博士の事や以前アメリカに在住された時の事等……。戦時中のその頃タブーとされていた敵国アメリカへのほめ言葉等、厚吉先生はおかまいなく、良い事は良い事として話して下さいました。

　又ミセス静子先生は『乙女は陽光なり』と黒板に大きく書いて下さいました。その温かく深い両先生の愛情を胸に抱いての私達の動員生活でしたから、毎日を力強く明るく過ごせたのだと思います。夕方帰る途中空襲に遇う事も度々でしたが、停電で市電も動かない時、新宿から中野迄、友達と一緒に歌いながらよく歩いたものでした。

　こぶしの花の咲く頃は……

東京大空襲で

　あの頃動員先の工場でもいろいろありましたが、純粋で命も惜しまない少女となっていました。三月二十日と四月二十日の東京大空襲の時は、区内の同窓生が大分命を落された事を受持の小田喜禎（貞三）先生に聞かされ、皆で悲しく冥福を祈ったものです。その後、秋葉原の高いホームに立った時、本当に私は驚きました。東京は大空襲のため、見渡す限りの焼け野原となって地平線迄も見えていたのです。それなのに未だ残っている東京があるとは!!東京は本当に広いなとしみじみ思いました。

　私は足の一寸した怪我の化膿で一旦帰郷する事にしました。汽車を乗りつぎながら何回も空襲に遇い大変な思いで九州の両親のもとに帰り着き、暫くして終戦を迎えました。その後日本は国民皆の大変な努力と平和への願いでめざましい復興をとげました。

3H精神を忘れずに

　戦後六十年も経った今、私達は平和な日本で幸せな生活を送らせて頂ける事を心から有難く感謝しています。

　あまり学習も出来なかった私の学生生活でしたが、それ以上に大切な得難い体験と人生勉強をさせて頂いた事を、しみじみよかったと思っています。いつの時代でも東京文化の3H精神「活く頭、動しむ双手、寛き心」を忘れることなく、こんなにすばらしい教えの母校東京文化学園を心から誇りに思っております。

敗戦の日

専26　志田　瑛子（片野）

　敗戦の日を女学校三年で迎えた私達は、今古稀を過ぎてしまいました。久しぶりに級友と電話でお喋り出来、懐しく楽しくもありましたが、遠い記憶の糸は細々と不確かなものでした。

　あの日はとても暑く、朝ラジオ放送で「正午に重大発表がある」ということでした。

　私達三クラスは前年三つの工場に動員されていましたが後に学校動員となり、みんな一緒に教室で「陸軍通信本部」の仕事をしていました。東大出という陸軍将校さんに指導され、数字合せ（暗号とか）の様な事をしながら時折、黒板に仮名をふったドイツ語を見ながらみんなで、ドイツ歌曲を歌いました。食べる物も履く靴もない時代だったのに素敵な思い出です。

　正午、職員室、校長室の前の廊下に私達は並んで頭を下げて、生れて初めて陛下のお声を聞きました。ラジオは雑音が入り、くぐもった陛下の難解なお言葉はよく理解できませんでしたが、戦争に負けた事が判り、先生も私達も泣きました。校長先生は「これからは自由になるのだから、みんな泣かなくても良い」と云われましたが、私達は先生を恨む様に又泣きました。軍国少女達の涙でした。

　その夜我家に突然、海軍将校が三人乱入して「自刃する」と騒ぎました。女三人だけの家で母は私と姉を隠して、必死に対応しました。緊迫の時が流れ将校達がやっと帰った時、私達三人は腑抜けの様な状態でした。その後明るい電灯の下、モンペをぬぎ頭巾を放り本当にほっとしました。暑い夏の日の長く恐い一日でした。

　思えばこの事件が、後の我家の生活を一変させるきっかけとなったのです。苦労の多い母の再婚となり、先の見えない日本の始まりとなりました。

学園の広告が変わりました。

東京メトロ新宿駅とＪＲ中野駅の電飾看板です。

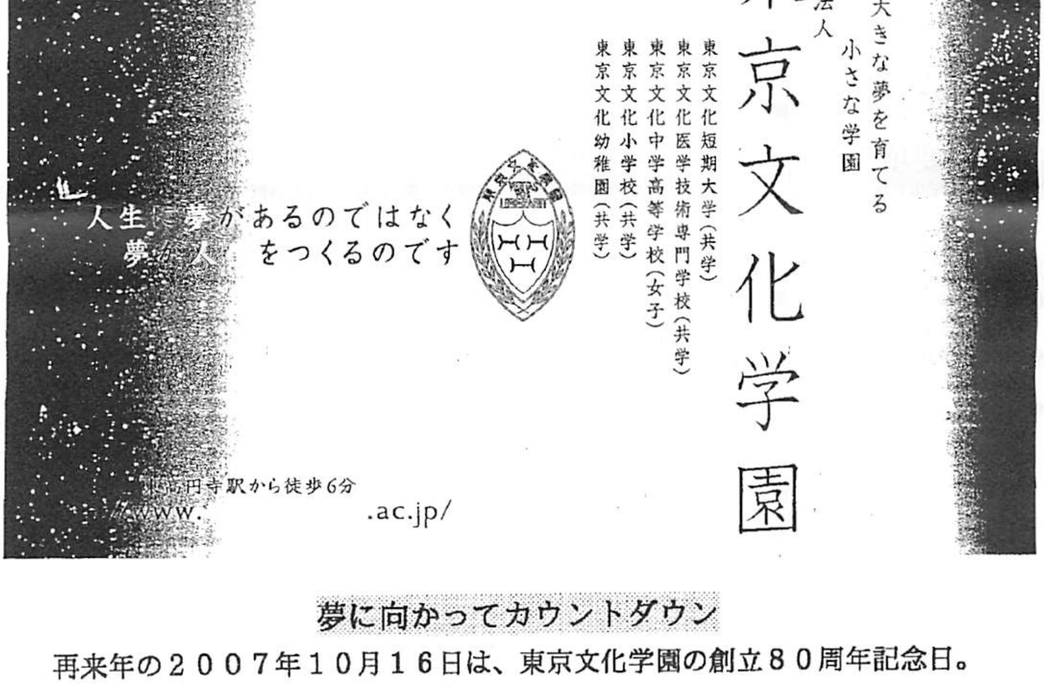
キャッチフレーズは

人生に夢があるのではなく
夢が人生をつくるのです

学園のスローガンは

大きな夢を育てる
小さな学園

虹色の色調に、以上の文字が入った爽やかでアピール力のある広告です。



夢に向かってカウントダウン

再来年の２００７年１０月１６日は、東京文化学園の創立８０周年記念日。

<u>ルネッサンス８０企画実現のため、募金をよろしくお願い申し上げます。</u>

短期大学の近況

臨床検査学科設置に向けて
生活学科（栄養士・介護福祉士・保育士）を充実

生活学科（旧・家政科）となって四年目、男女共学になって三年目を迎え、栄養士養成の食物栄養専攻、介護福祉士養成の生活福祉専攻、保育士養成の児童生活専攻と「生活」を支える三本柱がしっかり根付いてきています。三H精神に加えて、「いのち・やさしさ・おもいやり」を合い言葉に、元気の良い短大をめざしています。

来年度に向けて「臨床検査学科」の設置、児童生活専攻への幼稚園教員養成課程導入の計画を積極的に進めています。

《食物栄養専攻》

栄養士養成の食物栄養専攻（募集定員八〇名）では、「食育」はもちろんのこと、さらに効果的で総合的な判断力を養うための科目編成の下でHEAD・HEART・HANDSの教育を伸ばしています。すでに十年来、栄養士を希望する学生の就職率は一〇〇%の実績を続けています。

《生活福祉専攻》

生活福祉専攻（募集定員四〇名）は、学生たちの目標が明確で、福祉事業の中核を担う「介護福祉士」をめざし、卒業＝資格取得となります。目下、「東京文化の介護福祉士」としての特徴と気質を形成する時期に入り、教職員・学生が一丸となって「生活福祉」の道を開拓しています。

《児童生活専攻》

保育士をめざす児童生活専攻（募集三〇名）は、二年間で幅広く子どもの生活の在り方を学び、「心の教育」ができる生活者の育成を行い、さらに一年間を専攻科で実習を中心に具体的内容を学び、三年間で「保育士」資格が取得できます。ゆっくりじっくり取り組んで、その上で実践力のある保育士を育成します。

現在、来年度から幼稚園教諭二種免許を取得できる課程認定を申請しています。

《臨床検査学科の設置計画》

短大改革の大事業として、来年度から「臨床検査学科」を設置することを関係省庁に申請しています。現在の医学技術専門学校は、昭和二十七年に短大内に設置した「医学技術研究室」に始まり、衛生検査技師、臨床検査技師養成に尽力してきました。約半世紀の長きを経て本短大に戻ってくることになります。認可されると新たな二学科時代が始まります。

このように「大きな夢を育てる小さな学園」として、短大は着実に歩みを進めています。大きな変革の中でも、本学の特色である、確かな技術と豊かな心を育てる小人数教育、学生と教員とのコミュニケーションが密であるアットホームな環境を常に改善しています。

以上、今年度短大各専攻の様子と、来年度に向けての短大構想をお伝えしておきます。

（短大教務部）

学生募集要項

（2006年4月入学生）

定員／生活学科150名
（共学）

◆食物栄養専攻
（栄養士免許）
◆生活福祉専攻
（介護福祉士）
◆児童生活専攻
（保育士）

◎臨床検査学科（設置認可申請中）については、医学技術専門学校にお問い合せ下さい。

◎選考方法、基準、手続き等が入学試験によって異なります。

同窓生の皆様、お知り合いをご紹介ください。

■AO（アドミッションズオフィス）入学試験（入学定員の20%程度）

エントリー期間	2005年6月10日（金）～2006年2月28日（火）
面談日程	＊初回面談は以下の日程から都合の良い日を選択 2005年:10月8日（土）、11月5日（土）、11月26日（土）、 12月10日（土）　2006年:1月14日（土）、2月18日（土）、3月1日（水） ＊2回目面談については、初回面談時に相談して決める（30分程度の面談）

■公募推薦入学試験（入学定員の50%程度）

	1期	2期	3期
出願期間	2005年10月20日（木）～10月27日（木）	2005年11月16日（水）～11月24日（木）	2005年12月1日（木）～12月8日（木）
選考日	2005年10月29日（土）	2005年11月26日（土）	2005年12月10日（土）
合格発表	2005年10月29日（土）	2005年11月26日（土）	2005年12月10日（土）
選考方法	出願書類、面接		

■一般入学試験（入学定員の30%程度）

	1期	2期
出願期間	2006年1月20日（金）～1月28日（土）	2006年2月13日（月）～2月20日（月）
選考日	2006年2月1日（水）	2006年2月23日（木）
合格発表	2006年2月1日（水）	2006年2月23日（木）
選考方法	筆記試験（下記の5科目の中から1科目選択）および面接	
試験科目	①国語総合、②英語Ⅰ、③生物Ⅰ、④化学Ⅰ、⑤小論文（生活福祉専攻のみ選択可）	
配点・時間	各科目100点、各60分	

＊社会人入学試験（入学時に高校卒業後2年以上経過する者）・優待入学試験（専修学校、短期大学、大学のいずれかを卒業・卒業見込みの者）帰国子女入学試験・留学生入学試験については、お問い合せ下さい。

医学技術専門学校

来年度から短大臨床検査学科へ

現在、短期大学にある生活学科は多方面の志向をもつ学生の希望に応えるため、食物栄養、児童生活、生活福祉の各専攻を持ち、健康生活支援をする人材の育成を総合的に行っています。ここに医学技術専門学校を短大臨床検査学科として設置することにより、短期大学は、健康生活支援の国家資格4種類の取得を標榜する、社会的ニーズに対応した特色ある高等教育機関となります。また、臨床検査医学を通して、相互の学科専攻の特色を取り入れた、より人間的に豊かな人格を持つ専門的な人材を育成できます。

医学技術専門学校は短期大学臨床検査学科設置に伴い学生募集を停止し、在校生の卒業を待って、残念ながら発展的に閉校することになります。卒業生の方々には、ちょっぴりさみしい話題かもしれません。

卒業生の就職・進学先一覧（17年3月）

皆様のご協力により今年も以下のとおり全員が決定しました。有難うございました。

就職

東京女子医科大学病院、東京慈恵会医科大学附属病院、東京慈恵会医科大学附属第三病院、昭和大学病院、帝京大学医学部附属市原病院、聖マリアンナ医科大学（電子顕微鏡施設）、慶応義塾大学病院、東京医科大学病院、国立病院機構久里浜アルコール症センター、国立国際医療センター、東松山市職員、日本赤十字社中央血液センター、虎の門病院、東十条病院、慈生会病院、駒沢病院、高月整形外科、ふかがわ眼科、戸田中央総合病院、新座病院、菊名記念病院、鶴川サナトリウム病院、相模原協同病院、亀田総合病院、国保旭中央病院、国保多古中央病院、新浦安虎の門クリニック、籠原病院、西大宮病院、茨城県きぬ医師会、西城病院、結核予防会、シマ研究所、PL東京健康管理センター、エスアールエル・ラボ・クリエイト、保健科学研究所、メディカジャパン、ラボラトリー、ピーシーエルジャパン、東京保健会、綜友会、JCDサポート、東京文化医学技術専門学校（複数入職施設あり）。

進学

杏林大学保健学部臨床検査技術学科編入、癌研究会附属病院付設細胞検査士養成所入学。

臨床検査学科の募集について

短期大学臨床検査学科（認可申請中）の入学試験は12月からおこなう予定です。詳細は医技入試事務室にお問い合わせください。

校長就任挨拶

岡部紘明

前任の大森昭三校長に引き継いで校長に就任しました岡部紘明です。生まれは札幌です。戦前生まれの戦後っ子、生後0才で中国に渡り7才までハルピンで育ち、戦後帰国、公職追放で清瀬村で農家をしていた叔父のもとに身を寄せ小学校は東星学園というミッションスクールに入りました。

翌年札幌に戻り、昭和45年札幌医大大学院（生化学専攻）で医学博士号取得後、東京都養育院付属病院（現都老人医療センター）研究検査部に勤務、昭和50年ニューヨークアルバートアインスタイン大学研究検査部留学、帰国後、生化学（検査）科長、昭和61年熊本大学医学部教授（附属病院中央検査部教授・部長、輸血部長、臨床検査医学講座、医学研究科・修士課程、大学院大学医学薬学研究部病態情報解析学・博士課程、現名誉教授）、他熊本大学医療技術短大、薬学部、教育学部、慶応大医学部薬化学研究所、宮崎医大及び長崎大学臨床検査医学の講師も併任し臨床検査、分析畑を歴任、平成17年4月に東京文化医学技術専門学校に赴任いたしました。

専門分野は、臨床検査医学（旧臨床病理学）、臨床化学、生物試料分析、臨床検査の自動化で年会長やセミナー会長、国際学会でもシンポジスト、座長を務め、特に京都での国際臨床化学会議では渉外担当委員長やシンポジウムの世話役、高円宮殿下ご夫妻の臨席された会場内での警護役や報道担当もしています。他に輸血学会、老年病学会九州地方会長、理事、評議員、幹事、監事等も勤めアジア太平洋臨床生化学会の日本代表、理事で、日本臨床検査医学会及びアメリカ臨床化学会名誉会員でもあります。

趣味は身体を動かすことで、学生時代は野球、柔道をしていましたが、熊本ではゴルフ、登山、温泉巡りと自然を堪能していました。写真を撮りまくっているがさっぱり整理をしないので顰蹙（ひんしゅく）を買っています。

東京文化学園に勤める迄知りませんでしたが、学園創立者の森本厚吉先生は私の父、叔父の北大農学部の先輩である事がわかりました。大森前校長からの念願である、専門学校の短大化と言う重要な時期に当たり身の引き締まる思いです。宜しくご支援下さい。

中学校・高等学校

ようこそ 未来からの留学生 三つの約束

・一人ひとりの可能性を引き出す手作りの安心教育
・あの先生のわくわく授業
　みんな主役のいきいき部活
・伸ばす技術、伸びる能力
　成長カルテで実現します

東京文化中学校・高等学校の教育活動も、この合い言葉が2年目を迎えました。いつも新しい取り組みを考え、反省し、一歩ずつ前進しています。

今年度からは生徒に係わる担当部署の名称も変更しました。たとえば、「進路部→進路開発部」「生徒会・生活指導部→自治活動部」また、新たに「発育開発部」と「国際発育部」が教務部より独立し、授業の充実と国際理解教育を推進するため活動しています。このことにより、教員も今まで以上「わくわく授業」や「いきいき部活」で生徒にとって有意義で楽しい教育活動を行うよう努力しています。

現在の活動の一端をご紹介しましょう。

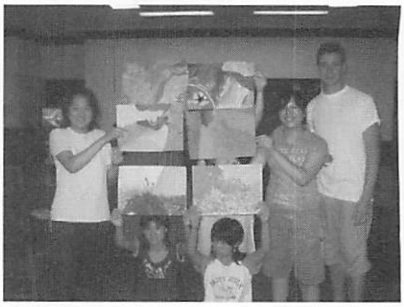
心の教育

「目前の義務を果たせ」、今すべきことを一つ一つ確実にこなして行く。その積み重ねが自分の夢をかなえてくれるのです。

生徒自身が、夢の実現のために何が必要なのかを、新渡戸精神を継承しつつ、教員の手作りの冊子「夢に向かって」で、今の時代に即した形で考えていきます。

また、[BE LADYLIKE／]の目標で自分の外面・内面を磨いて行きます。

▲ 和楽器（三味線）



◀ ブリティッシュヒルズにて

国際教育プログラム

調べ学習・行事や体験学習を繰り返し、プレゼンテーションを中心に表現力を高めるプログラムで総合的な力を育てます。

中学では日本文化と異文化理解を進め、使える英語を目指して国際理解教室での意見交換やブリティッシュヒルズでの国内留学体験、そしてカナダへの修学旅行でまとめをします。

進路計画

継続的で緻密な進路開発計画により、第一希望の進路が実現されています。昨今の四大希望の増加に伴い、今春は78・5％が四大進学しました。同程度の学校と比較しても抜群の実績をあげています。

成長カルテ

第一希望の進路を実現するために、「成長カルテ」で継続的な進路指導を進めています。入学から卒業までの生活・学習を担任および各教科担当が丁寧にバックアップし、的確なアドバイスをしています。生徒自身の成長記録でもあります。

六日制

二十五年以上実施した五日制が六日制になりました。土曜日は、中学生は授業や体験学習、高校生は講習で、急増した四大志望に対応し、学力の向上を図っています。

スクールランチ

中高生が心身共に健やかに育つためには、食事も大切です。中一から高二まで東京文化短大卒業の栄養士の先生方が栄養バランスを考え、毎日ボリュームたっぷりでデザート付きのランチを提供してくれます。誕生日にはケーキのプレゼントもあります。

スカラシップ

入学時および学年末の成績が優秀な場合には授業料を免除する制度があります。努力した結果が報われます。

奨学金制度

昨今の経済事情により、入学後に修学困難に陥る家庭もあります。この度、同窓会のご援助により奨学金制度が発足します。同窓会の皆様には感謝申し上げます。

日々の活動を通じて生徒の発育をお手伝いするのが我々教員の仕事と思っています。新渡戸先生の残された「教職員心得」の中の「親心を持って当たるべし」を常に心に持ちながら、これからも教育活動を進めて行きます。同窓会の皆様方のご支援をお願いいたします。

（上前）

▶ スクールランチ

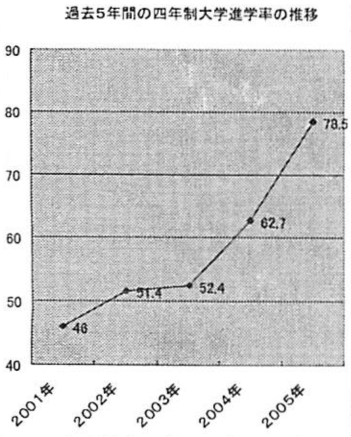
四人に三人が四年制大学進学

リサーチ・アンド・プレゼンテーションの推進

まず昨年度の進路報告です。平成十六年度卒業生は四年制大学への進学が78・5パーセントを占め、上智大学3、早稲田大学1をはじめとして、明治大学、立教大学、中央大学、法政大学などの合格者を出しました。

MARCH以上の難関大学への合格実績は年々向上しており、後輩にも「自分も実現できる目標」として、後に続く意識が生まれてきています。

本校は決して難関大学合格だけを看板に掲げているような学校ではありませんし、それが可能な一部の生徒ばかりに目を向けているような学校でしたら四年制大学に四分の三の生徒が進学するという、全体的な向上の成果もあげることはできません。



進路開発部では、六年後、三年後の夢実現のゴールから逆算して、一年ごとの計画を緻密に組み立てています。どの学年のどの月にどのような働きかけを生徒たちにするか、一定の指導品質を保証するためです。

その内容も「出張授業」「大学説明会」などのような、大学側から本校に来校していただくものだけではありません。

本校は「リサーチ・アンド・プレゼンテーション」と称して、校外体験、発信型学習をカリキュラム全体に多く取り入れています。進路関係でも中一から職業リサーチを始め、高一から大学のオープンキャンパス参加を必修課題としています。

そして高二では今年度から、授業を始めとして丸三日間の大学生活を生徒に体験してもらう「キャリアデザイン・ウィーク」を実施します。

このような多くの取り組みのほかに、もう一つ本校の特徴として、「成長カルテ」があります。

一人ひとりの生徒について、学習状況をすべての教科担当が分析し、伸びしろを正しく把握し、その生徒に見合った指導を担任・教科担当の共同作業で進めていくのです。成長カルテは生徒、保護者にも定期試験のたびに配布し、面談などで活用されています。

担任を始めとして日常から面談を繰り返し、生徒個々の特徴をとらえたきめ細やかな「発育開発」体制が、確かな進路結果へとつながっているのです。

(佐藤)

平成１８年度募集　入試説明会

〔中学校〕　１０月８日（土）、１０月２９日（土）…１０：３０〜１１：３０
１１月２６日（土）、１２月３日（土）…１０：３０〜１５：３０
１月１４日（土）…１０：３０日〜１１：１１：３０

〔高等学校〕　１０月８日（土）、１０月２９日（土）…１４：３０〜１５：３０
１１月２６日（土）、１２月３日（土）…１０：３０〜１１：３０
１月１４日（土）１４…１４：３０〜１５：３０

〔入試相談会〕＜中学校・高等学校＞
１１月２日（水）、１１月３日（祝・木）…１０：００〜１６：００

イベント

〔学習会〕　＜中学校※要予約＞
１０月１５日（土）、１１月１９日（土）…１０：００〜１２：４０
１月７日（土）…１０：００〜１２：００

〔クリスマス〕＜中学校※要予約＞１２月１７日（土）…１０：００〜１２：４０

〔新渡戸祭〕　１１月２日（水）、１１月３日（祝・木）…１０：００〜１５：００

〔公開授業〕　１１月１８日（金）…８：４０〜１５：１０
１９日（土）…８：２０〜１２：４０

平成１８年度募集　入試要項

	中学校					
募集人員	1回AM	1回PM	2回AM	2回PM	3回	4回
	30		20		5	5
試験内容	国語・算数・面接（受験生のみ）					
試験日	2／1（水）		2／2（木）		2／3（金）	2／5（日）
	9:00〜	15:00〜	9:00〜	15:00〜	15:00〜	9:00〜
合格発表	2／1（水）		2／2（木）		2／3（金）	2／5（日）

	高等学校					
募集人員	推薦入試		一般入試			
			1回		2回	
	一般進学	特別進学	一般進学	特別進学	一般進学	特別進学
	40	10	20	10	20	10
試験内容	作文・面接		国語・数学・英語・面接			
試験日	1月22日(日)		2月10日(金)		2月11日(祝・土)	
合格発表	1月22日(日)		2月10日(金)		2月11日(祝・土)	

※中学・高等学校の合格発表は、窓口とインターネットがあります。

東京文化小学校春秋

小学校長　福田景三郎

いよいよ9月になりました。前期もあと残すところ1ヵ月足らずです。ここで4月からの出来事をゆっくり振り返ってみることにしましょう。夏休みを間にはさんでいるので忘れかけていることもあるかも知れません。前のことを思い出してそれを今に役立てること、それをこれからのことに結び付けることが大切だからです。どのようなことでも、それはそれだけであるのではなくそれぞれが時間の流れの中で縦に、そして空間の中で横につながっているからです。

さて、ではちょっとしたタイムスリップをしてみましょう。

4月7日（木）入学式

58期生の一年生40人、満開の桜の中で満開の笑顔で文化家族の仲間入りをしました。今年は桜も待っていてくれましたし、お天気にも恵まれてホッと致しました。

4月20日写生会（2～6年）
親子遠足（1年）

心配だったお天気も大丈夫で今年は予備日に延期をしないですみました。八重桜は大分散ってしまいましたけど、その分深緑の芽吹きが早くて空の青と白い雲の下の緑の鮮やかさが印象的でした。照らず降らずで野外活動にはちょうどよかったようです。モールの展覧会にはすてきな絵がたくさん並びました。

4月21日（木）新1年生歓迎会

一時限目の講堂は、1年生から6年生までの全校児童と1年生の保護者の皆さんで超満員。笑顔とちょっぴり緊張の1年生、でも胸を張ってとっても立派でしたよ。

5月10日（火）　歩く会

文化の大きな特色である縦割り行事の一つです。1、2年生は2年生をリーダーとして武蔵丘陵森林公園にでかけました。学年の枠をはずして、2年生が1年生の手をつないで20人で一班、それが四班で、各班毎に先生がついて春の公園をゆっくり、でもしっかり楽しく歩いてゆきました。

3年生から6年生は、6年生をリーダーとして恒例の高尾山登山に行きました。こちらは各学年2名ずつで構成されている生活班（毎日学校で掃除をしたりする常設の行動班）で班行動です。6年生のリーダーシップ、各学年の班行動への理解や協力のあり方など学ぶことが多い貴重な一日です。ふだんから学校の中でお互いが全員、名前も顔も性格も分かり合っている事が班行動をスムーズにさせている大きな力であり、それをしっかり体験することにもとても大きな意味があります。

▶"さあ、おいしいおべんとうだ―"歩く会で

5月16日（月）自由選択特別講座開講

5・6年生を対象とする算数、国語2教科の特別講座が始まりました。算数4講座、国語3講座で何よりも特色は子供が自分で自分に合う講座を選択することです。週2回実施しており、これは5・6年生の算数、国語の通常授業数以外です。担当の教員はなかなか大変ですが子供のわかった！という笑顔を支えにがんばっております。

5月26日（木）高学年球技大会

4・5・6年を縦に3つのチームに分け、バスケットボール、サッカー、ドッジボールの3種目で優勝盾を目指して戦います。これも当然縦割りですが、学年の枠を超えたところのまとまりかたで勝敗が決まるようです。4年生のよい所を上手にほめている6年生、5年生、そして笑顔の4年生。とっても大事なことをスポーツを通して学んでいるなあと毎年思います。

6月4日（土）水泳練習①

5回にわたる水泳練習が始まりました。一人ひとりのがんばりが目に見えてわかる行事です。泳力別に10のクラスに分かれて練習します。東京スイミングクラブの専門のコーチが各クラスにそれぞれ1名から2名ついて万全の体制で行われます。記録とか仕事のある先生以外のほとんどの教員も子供たちと一緒にプールに入って指導に参加しています。

6月24日（金）音読発表会

1年生から6年生までの全員参加の行事で、今回は各クラス代表2名による発表でした。みんな、大きな声で、はっきり、ゆっくり、堂々とすてきな音読ができました。

7月15日（金）防犯講話

1～3年、4～6年に分かれて杉並警察署より少年係の方においでいただいてお話を伺いました。私たち一人ひとりがどうすれば安全に生活できるかをやさしくていねいに教えていただきました。

7月18日（月）～21日（木）
サバイバルキャンプ（4～6年）
じょんのびキャンプ（4～6年）
7月24日（日）～27日（水）
浜人キャンプ（4～6年）
7月26日（火）～28日（木）
浅間高原学校（2・3年）

毎年夏に4つのキャンプがあります。もちろん縦割りで学年の枠を超えて、どのように力を合わせれば楽しいキャンプになるかを実体験できます。浅間高原学校は台風で9月28日からに延期となりました。

後期のことは、できれば次号でご紹介したいと思います。

平成十八年度　児童募集

募集人員　男女約40名
（内部進学者を含む）
選考期日　11月12日（土）
願書受付　10月12日（水）～
11月10日（木）
（土・日・11／2～4を除く）
合格発表　11月12日（土）郵送
＊学校案内・願書配布中
（一部五百円）
◇帰国子女受け入れ
海外より帰国した児童の編入は空席等がある場合のみ、随時受け付け。ご希望の方は「帰国子女編入学案内」をご請求ください。

☎〇三－三三八一－〇一二四
http://www.tokyobunka.ac.jp
東京文化小学校

ようちえんだより

暑い暑い夏が過ぎ、朝晩涼しい風が吹く頃になりました。

夏休みの楽しい経験をしてたくましくなった子ども達が元気に活動しています。様々な行事を通してひとりひとりの持っている力が発揮できるように保育をしていきたいと思います。

9月のクラス便りから

〈年少組より〉

初めて迎える長い夏休みも終り、今日から二学期が始まりました。昨年までの夏とは違い今年は夏休み日記を手にし、お天気シールを貼ったりいくつかのお約束を守りながら過ごしたお休みでしたが、きっと暑さを吹き飛ばす勢いで元気に過ごされた事と思います。

今学期は楽しい行事がたくさん待っています。どれも初めて経験するものばかりですから、楽しく期待を持ちながら無理のないように取り組んでいきたいと思っています。

まずは運動会。広い学園のグランドで小学校と一緒に行われますが、当日までは、自由遊びの中で年中組・年長組にまざって園庭でかけっこをしたり、曲に合わせてダンスをしたりします。親子競技では子ども達と一緒に参加してくださるお父様、お母様の姿にきっと大喜びするでしょう。

その後もお芋掘り・プレイデー祖父母招待日・クリスマスとひとつ行事を経験するごとに成長の階段を一段ずつあがっていく事と思います。とはいえ、長いお休みの後です。夏の疲れも加わりしばらく生活のリズムが整うまでは、お母様と離れがたかったり、体調を崩しやすくなります。生活習慣など一学期にはできていたことも、できなくなってしまうこともありますが、この夏の間に成長した姿に目を向け大きく伸びた面を認めて接していきたいと思います。まだ暑さ残る毎日ですが元気に二学期をスタートさせましょう。

〈年中組より〉

連日三十度を越える真夏日が続き、すこし動いただけでも、汗が流れる程暑い夏休みでしたが、毎日、プールや公園で遊んだり、旅行に出かけたりと、元気に過ごしていた様子がいただいたお便りから伺えました。

いよいよ二学期が始まり、楽しかった夏休みの思い出をお土産にみんな元気に幼稚園に戻ってきました。ひとまわり大きくなって、お友達の前で夏休み日記を見せながら、一人ひとり、楽しかった夏休みのお話をしてもらおうと思います。どんなお話が聞けるか、とても楽しみです。9月に入ってもまだ暑い日が続きますが、子ども達はこの暑さに負けず、元気に園庭に出て走り回ることでしょう。

今月は運動会があります。「よーいどん！」とテープの先を目指してかけっこをしたり、年長組さんとダンスをしたり、自由遊びの中で楽しみつつ運動会に向けて、盛り上げていきたいと思います。当日は、ご家族皆様も、張り切ってご参加くださいね。

運動会が終われば、すぐお芋ほり。季節の移り変わりを感じ、自分の手で収穫する喜びを味わいたいものです。

▶浅間キャンプにて

まだまだ暑さが続きます。お休み中の生活リズムが整わず疲れやすくなりますので、降園後は、十分な休息を取って、幼稚園の生活リズムに早く戻れるように心がけていただきたいと思います。

〈年長組より〉

夏休みも終わり、今日から二学期が始まりました。幼稚園生活最後の夏休み、いかがお過ごしでしたでしょうか。

ご家庭での様々な経験を通して、それぞれが心に残る夏休みを過ごされたことでしょう。

年長組は、夏休みに入ってすぐ浅間高原宿泊保育がありました。進級当初より、楽しみにしたり、不安に思ったこともあったようですが、欠席者がなく全員揃って元気に参加できたことは、何よりも嬉しいことでした。又、天候にも恵まれ、予定通り全てのプログラムを実施することができました。グループのお友達と協力して草むらや木に隠れているカードをさがすオリエンテーリングでは、ポイントごとにクイズに答えたり、じゃんけんをしてゴールまで進んでいきました。都会では、なかなか経験のできない自然に囲まれた中で虫捕り・カード探し・キャンプファイヤー・花火などを楽しみました。ご家族の方と離れ、お友達と先生と過ごした宿泊保育。いつまでも楽しい思い出として、心の中に残っていることでしょう。

さて、二学期は行事が多い時です。運動会では、かけっこ・フォークダンス・親子競技に参加しますが、当日迄、自由遊びの中や、学年の活動の中にも取り入れ、気持ちを盛り上げながら一人ひとりが力いっぱい取り組める時にしたいと考えています。

残暑が続き、夏の疲れが出てくる頃ですが、今学期も規則正しい生活を心掛けて体調に留意しながら過ごしていきましょう。

平成十八年度

入園志願者のための公開保育・説明会

公開保育　十月十四日（金）
午前九時三十分～十一時三十分

入園説明会　十月十九日（水）
午後二時～三時

入園考査　十一月一日（火）
三歳児　約四十名
四歳児　若干名

幼稚園入園案内を配布いたします。

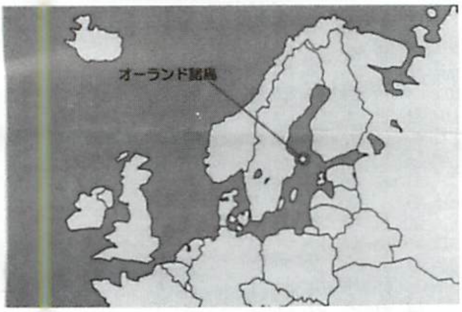
お問い合わせ
○三（三三八一）一一八三
東京文化幼稚園

オーランド諸島と日本

理事長　森本晴生

去る七月にオーランド諸島の視察旅行に、団長として参加しました。主催は財団法人新渡戸基金で、東京文化学園はその東京事務所を引き受けています。七年前に第一回の視察旅行があり、私は今回が初めての視察です。新渡戸稲造研究で有名な佐藤全弘先生、平成九年に本学園の創立七〇周年記念式典で講演していただいた藤井茂さん(「森本厚吉　新渡戸稲造の愛弟子」の著者)なども一緒です。

オーランド島は六千余りの島からなるオーランド諸島のひとつです。歴史的には一九〇九年の戦争のあと、オーランド諸島はスウェーデン王国の領土から、フィンランドとともにロシア帝国の領土となり、一九一七年のロシア革命の時にフィンランドが独立を宣言し、オーランド諸島もフィンランド領になりました。オーランド諸島の住民の九割はスウェーデン系です。フィンランド政府がオーランド諸島を自治領とする提案をしましたが、オーランドの人たちはスウェーデン領となることを希望しました。



これが、設立直後の国際連盟に持ち込まれ、一九二〇年に三者に対して次のような提案が出されました。これの準備に事務局次長の新渡戸稲造先生が大きな働きをしました。

フィンランドはオーランド諸島の領有権を持つが、島民のスウェーデン文化、言語、自治権を認める。公用語はスウェーデン語。オーランド諸島は非武装・中立とする。

これを三者が受け入れて、翌一九二一年以降、この枠組みが続いています。

このときの国際連盟での協議の様子が描かれた絵がオーランド行政長官の部屋にありますが、これは複写だそうで、本物はジュネーブにあるとのことでした。(写真)

この絵の左端に日本人に見える人が二人描かれて、立っているのは日本の国際連盟代表を務めた駐仏大使の石井菊次郎さん、その左に座っているのが新渡戸先生のようです。

一九九五年にフィンランドがEUに加盟したときには、オーランド諸島は間接税の扱いなどでは第三の地域と見なされるようになりました。フィンランドとスウェーデンはEUに属しているので、直接に移動すると免税の扱いがありませんが、オーランドに立ち寄る船は外国航路と見なされ、船内に免税店があって二十二%の売上税が免除されるので、両国とオーランド諸島の人たちに利用されています。

日本と比較して

オーランド自治政府の行政長官ノクレールさんは招かれて東京と沖縄に来たことがあるそうです。ノクレールさんの説明によると、言語を維持するのは難しく、沖縄では百万人余りの人口があっても「沖縄語」が消えようとしていますが、オーランド島では一九二二年に自治権が確立したあとも、二万人余りの地域で学校教育と家庭教育でスウェーデン語を八〇年以上も維持しています。

あまり知られていませんが、フィンランドにはスウェーデン語を話す人が一割ほどいて、その公用語はフィンランド語とスウェーデン語です。オーランド諸島でスウェーデン語を公用語とするのは、「言語の多様性」から受け入れやすいのでしょう。

オーランド諸島は、フィンランドの約二百分の一の人口を持ち、国会議員一人の枠を持っています。「二百分の一」がキーワードのようです。

知事はフィンランド政府から任命されますが、オーランドの人を充てています。

オーランド諸島が新渡戸裁定によってフィンランドの自治領になったのにはこのような背景があり、そこに住む人々の努力によって体制が維持されています。ノクレールさんから「オーランドでの裁定は『解決の型』ではなく『事例』である。」との説明を受けました。

日本でも近隣の国と領土問題がありますが、その地域を日本の領土とするが別の言語を公用語とし日本国会に議席を持つ、あるいは、その逆、ということは国民感情として容易に認められないだろうと思います。

これをどのように解決するかが私たちの課題です。

会計報告

一般会計収支（平成16年度）（円）

収入	会費収入他	10,496,146
	前年度より繰越	1,366,400
	計	11,862,546
支出	諸費用	10,488,077
	次年度へ繰越	1,374,469
	合計	11,862,546

資産残高（平成17年3月31日）（円）

一般会計	現預金	65,319,799
事業部会計	現預金	29,062,171
旅行部会計	現預金	788,562
会報部会計	現預金	53,053
文化部会計	現預金	870,190

東京文化学園同窓会理事名簿　平成17年9月20日現在

会長	湊　くに	175-0094	板橋区成増4-21-3	☎03-3930-6011
副会長	長岡　文	227-0061	横浜市青葉区桜台25-1 4B-202	☎045-982-1153
〃	黒澤　教子	167-0032	杉並区天沼2-15-2	☎03-3391-7351
会計監査	赤木　君江	160-0011	新宿区若葉2-8-7	☎03-3351-4666
〃	青木　純子	176-0024	練馬区中村3-5-16	☎03-3999-4212

専門部

幹事長	中川　悦	169-0073	新宿区百人町1-21-9	☎03-3361-6474
副〃	藤原　芳江	164-0003	中野区東中野5-20-14	☎03-3371-4506

短大部

幹事長	長井　康子	176-0013	練馬区豊玉中2-25-10-203	☎03-3994-1523
副〃	五十嵐佳寿子	272-0813	市川市中山2-8-8	☎047-334-2354
副〃	富士ひろみ	161-0032	新宿区中落合4-21-4	☎03-3950-5489

医技部

幹事長	相賀　静子	321-2345	今市市木和田島高内1373-289	☎0288-26-9240
副〃	成沢　敏枝	104-0052	中央区月島3-7-2	☎03-3531-2746
副〃	新宅貴久栄	136-0072	江東区大島4-1-2-316	☎03-3682-0571

高女・高校部

幹事長	三雲　保子	166-0012	杉並区和田1-67-17	☎03-3381-1049
副〃	伊藤美和子	167-0032	杉並区天沼2-36-22	☎03-3398-0062
副〃	市原　和子	164-0011	中野区中央2-48-1	☎03-3371-8540
副〃	宮関千鶴子	155-0031	世田谷区北沢1-6-21	☎03-3467-0733
副〃	渡部　睦子	166-0011	杉並区梅里2-7-21	☎03-3312-3663
副〃	宮本婦美子	179-0075	練馬区高松1-4-9	☎03-6760-0235
副〃	井元喜代枝	164-0012	中野区本町1-32-1-701	☎03-3372-9833

小学校

幹事長	森本　光生	166-0012	杉並区和田1-64-5	☎03-5385-7670
副〃	能村　佳子	166-0012	杉並区和田1-28-7-201	☎03-3384-0364
副〃	土田　宏子	176-0001	練馬区練馬4-18-21-609	☎03-5999-2720
副〃	中武　麻子	166-0011	杉並区梅里2-25-13	☎03-3315-7376

特別理事

	内線番号	自宅☎
森本　晴生	☎259：252	☎03-3939-8171
小松　洋子	☎224	☎0422-54-2771
石森　貞子	☎229	☎048-837-1316

校内理事

青木　弥生	☎03-3381-0124（小学校）
川村　祥子	☎237
児玉　典子	☎03-3381-1184（小学校給食）

事務局

同窓会	☎03-3381-0196　内線232	
小耕　明子	166-0003 杉並区高円寺南3-13-11	☎03-5305-6550
尾形　織江	350-1316 狭山市南入曽668-2	☎042-958-3003

同窓会の活動

平成17年度の活動と予定

○行事・他

4月25日　新幹事歓迎会
　於　学園第二カフェテリア
5月28日　小学校部会総会
　於　小学校講堂
6月19日　総会
　於　学園
9月17日　観劇会
　「ああ離婚」於　浅草公会堂
11月2日～3日　新渡戸祭参加

○理事会実施状況

第一回理事会　4月18日
一、役割分担について
二、幹事会について
三、総会について
四、観劇会について
五、平成16年度決算・17年度予算について
六、旅行について
七、その他

第二回理事会　6月3日
一、幹事会の反省
二、総会、観劇会について
三、旅行について
四、その他

第三回理事会　9月5日
一、総会の反省・報告
二、観劇会について
三、「泉」について
四、新渡戸祭について
五、旅行について
六、その他

《住所等の変更をされた時は》

住所等の変更は同窓会事務室へ必ずご連絡ください。連絡の際は登録番号をお忘れなく！

○連絡方法は電話、ファクス、インターネットでもかまいません。登録を変更するまでに一～二ヵ月かかる場合もありますので、ご了承ください。
○登録された住所等は、同窓会・学園からの連絡以外には使用いたしません。

年会費納入のお願い

年会費の納入方法には、年払いと一括払いの二種類があります。

一括納入された場合、以後、年会費の納入は不要です。

①年払い　年額一、〇〇〇円
②一括納入　二〇、〇〇〇円

なお、年会費は同窓会の運営費です。どうぞその点、ご理解いただき、全会員がお忘れなくお納めくださいますようお願いいたします。

払込用紙の記入について

ア　卒業校別の略称項目に、必ず○印を付けてください。
イ　卒業年月と会員登録番号（宛名のラベルに記載あり）をお忘れなく。
ウ　お名前は楷書で。

毎年記入もれが多く調査に困惑しております。正確にご記入ください。

＊ご不明の点は、同窓会事務局（担当・伊藤）へ

既に一括納入された方に振込用紙が封入された場合は破棄していただき、手違いをご容赦ください。

謹んでおくやみ申し上げます。

物故者	氏名（敬称略）
女S6	折原　寿江（山岡）
女S11	石川千恵子（奈須田）
女S13	松永　清子（肥留間）
女S13	青田　みつ（鈴木）
女S13	志賀美穂子（松井）
女S15	古賀　幸枝（石井）
女S15	鎮目　淑子（村井）
女S16	湯本喜代香（山田）
女S17	中尾　澄子（松尾）
女S17	相磯　貞子
女S17	永野貴美子（福本）
女S18	折原　寿子（山岡）
女S18	島田　良子（永広）
女S18	平松　政子
女S18	佐藤瑠璃子（岩佐）
女S19	高田フジェ（大石）
女S19	青木寿賀子（田中）
女S20	久世　昭子（高橋）
女S20	山田ふく江（山田）
女S20	酒井　真澄（牧野）
女S21	寺岡　博子
女S23	服部　マリ（福井）
女S24	青野　忠子（柴山）
短S32	飯塚　福子（菅）
短S33	林　弘美（増山）
短S34	原　喜美子（吉田）
短S38	嵯峨　昭子（友反）
短S40	東郷　文子（前田）
短S53	九鬼のり子
短S54	土方千鶴子
専S11	梅沢　三保（小西）
専S16	木村　正枝
専S17	藤江　幸子（中尾）
専S17	中山　武子（岡村）
専S19	平川　嘉子
専S20	市村　久子（栗宮）
専S20	山口　貴恵（板橋）
専S23	川島　賢子
専S23	林　美奈子（尾崎）
医S30	工藤　信子
医S33	野久保圭子（村木）
医S44	須田あや子（豊永）
高S29	小林　蓉子（小野）
高S30	篠崎　和子
高S36	野村ひな子（和気）
高H13	高橋　綾子

教職員等
学園旧職　藤井　豊三
　　　　　鈴木　幸子

発行所　〒164-8638
東京都中野区本町6-38-1
東京文化学園同窓会
電話 03-3381-0196
（内線 232）
FAX 03-3381-7866
発行人　湊　くに
編集人　青木　純子
印刷所　（株）共栄社印刷所